

企業（ブリーダー）から見た関西実験動物研究会

上田正次

株式会社フェニックスバイオ宇都宮事業所

関西実験動物研究会は、気軽に参加でき、様々な研究者や企業の方々とフランクに意見交換ができる研究会である。そこでは、実験動物という共通のキーワードのもとに、アカデミアや企業の研究者はもとより、ブリーダー、動物実験に関わる受託企業、機器メーカーなどで働く多様なメンバーが集まり、参加しないと損をしたような気になる研究会である。年4回の集会のうち3回は週末の午後からということもあり、関西に限らず関東からでも気軽に参加できる。年末には朝からの研究会と特別講演に加えて泊まり込みで親睦をはかることもできる。

研究会には関西独特の雰囲気があり、実験動物にはじめて関わった者が参加しても快く受け入れてもらえ、大きな大会にありがちな分厚い要旨集から演題を探す必要もなく、非常に多くの情報入手と意見交換ができるお手頃な研究会である。

毎回設けられたテーマのもとでの講演とトピックスで3つの演題があり、研究情報はもとより動物実験を行うにあたり知っておかなければならない法規制やガイドラインの解説を非常にタイムリーに提供してくれる。しかも、講演は1時間を使って研究の背景から最新情報までをじっくり総説してくれる。一方、維持会員ニュースでは、動物実験に関わる各種機器から受託サービス等の幅広い分野の紹介があり、至れり尽くせりとなっている。これらをアレンジする集会幹事の方々の努力にはいつも感謝している。また、懇親会での情報交換も見逃せない。演者を囲んで非常にフランクに話ができる重要な意見交換の場となっている。

受託業務を行う企業には、最新の技術やシステムをいち早く取り入れて提供するという使命があり、小さな組織で研究者に遺伝子改変動物を作製して提供することを業とする弊社にとって、情報収集や意見交換の機会は非常に貴重で、関西実験動物研究会への参加は欠かせない。研究会では、研究者自身の経験を踏まえた貴重な話を聞くことができ、アドバイスを直接得ることもできる。また、研究者が求めるサービスを知り、逆に提供できるサービスを研究者にアピールする機会が持てる。さらに、普段は機会の少ない実験動物関連業者間の意見交換も意識せずに行うこともできる。

このような雰囲気に関西実験動物研究会の情報発信に期待するところは大きく、益々の発展を切望する。